

【はしのうえのおおかみ 紙芝居】

◇引用原文：文部科学省「わたしたちのどうとく 1・2年」

＜紙芝居 1＞



「はしのうえのおおかみ」

川の上に、一本ばしがありました。

＜紙芝居 2＞



うさぎが はしを わたっていくと、むこうから、おおかみが
わたってきて、うさぎを にらみつけて どなりました。

「これくら、もどれ、もどれ。」

うさぎは、びっくりして もどりました。

「えへん、えへん。」

おおかみは、いばって 一本ばしをわたりました。

＜紙芝居 3＞



ある日、おおかみが はしをわたろうとすると まん中で く
まに であいました。

おおかみは あわてて、いいました。

「わたしがもどります。くまさん、どうぞお先に わたってくだ
さい。」

すると、くまは手をふって いいました。

＜紙芝居 4＞



「いや、いや、いいんだ。ほら、こうすればいいのさ。」

くまは、おおかみをだき上げると、後ろに そっと 下ろしまし
た。

＜紙芝居 5＞



つぎの日、おおかみは、はしの上で うさぎにあいました。う
さぎは、あわてて 引きかえそうとしました。

けれど、おおかみは、やさしく よびとめました。

「いいんだ、いいんだ、うさぎさん。ほら、こうすれば いいの
さ。」

おおかみは、うさぎを だき上げ、うしろに そっと
下ろしてやりました。

「えへん、へん。」

おおかみは とても いい気もちになりました。